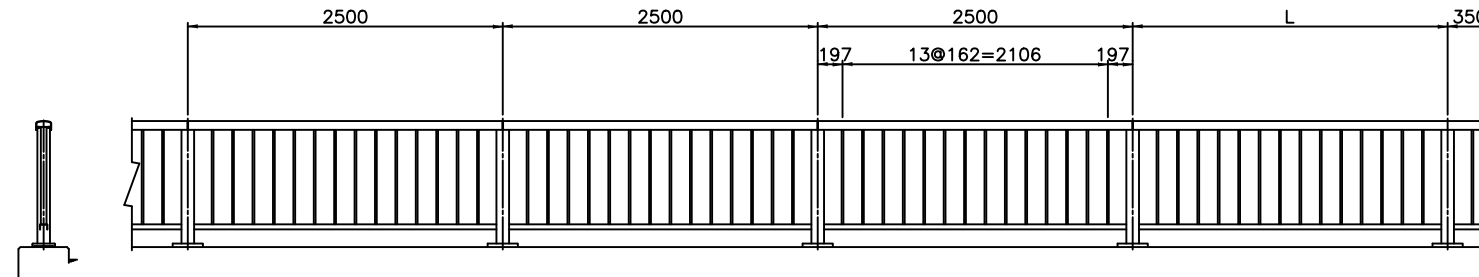
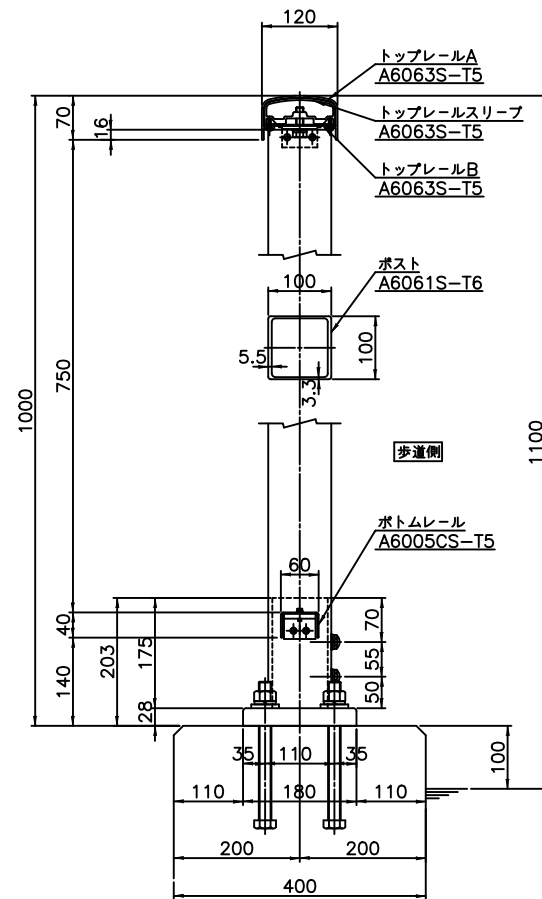


姿 図 S=1/30

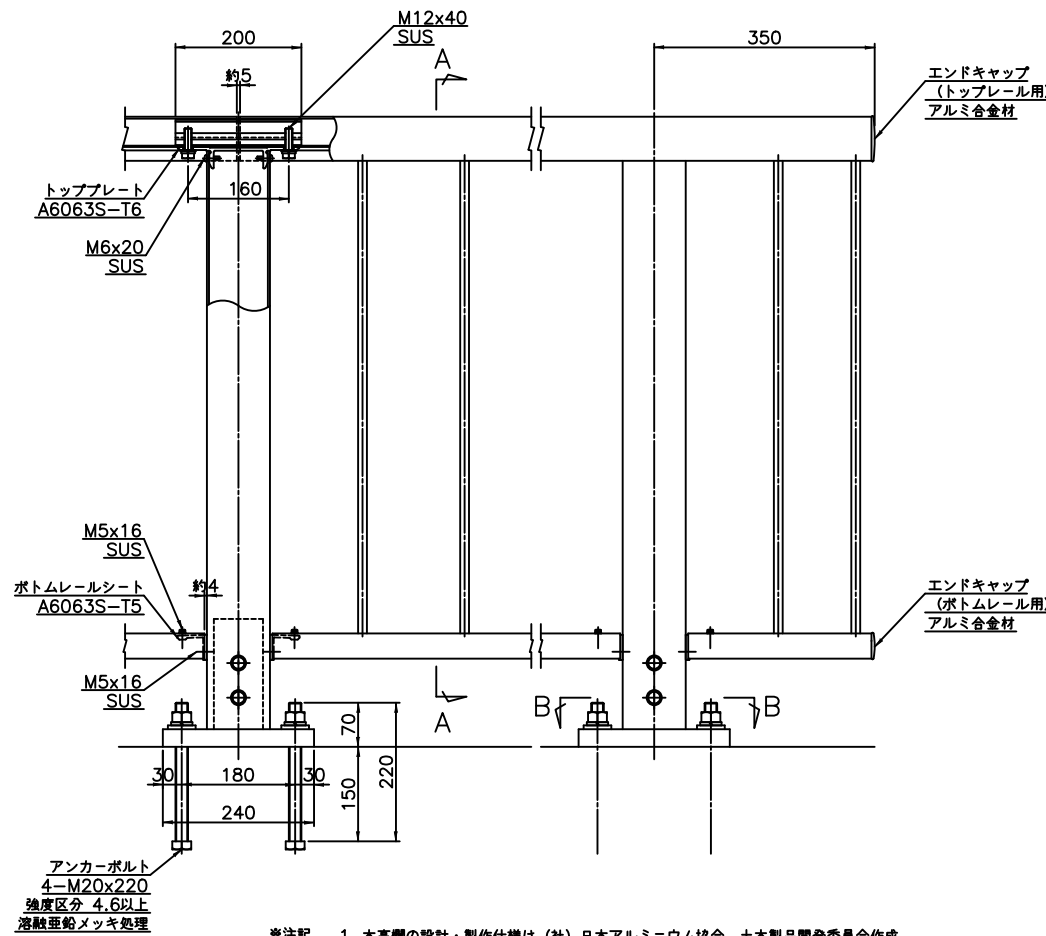


高欄取付詳細図 S=1/6

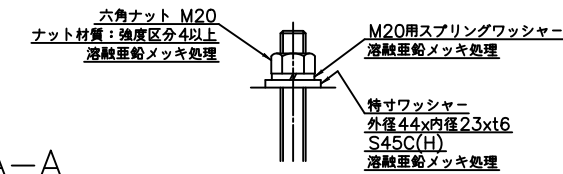


継手部

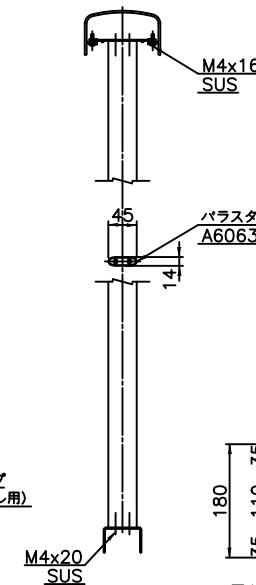
端 部



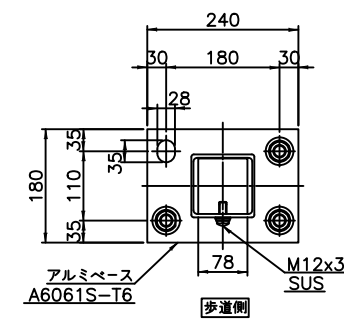
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面A-A



断面B-B



- ※注記
1. 本高欄の設計・製作仕様は (社) 日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」(平成30年6月) による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄製作・施工要領」(平成27年3月) による。
 2. 本高欄の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
アルミベースポストのサヤ管部の表面処理は生地とする。
 3. 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

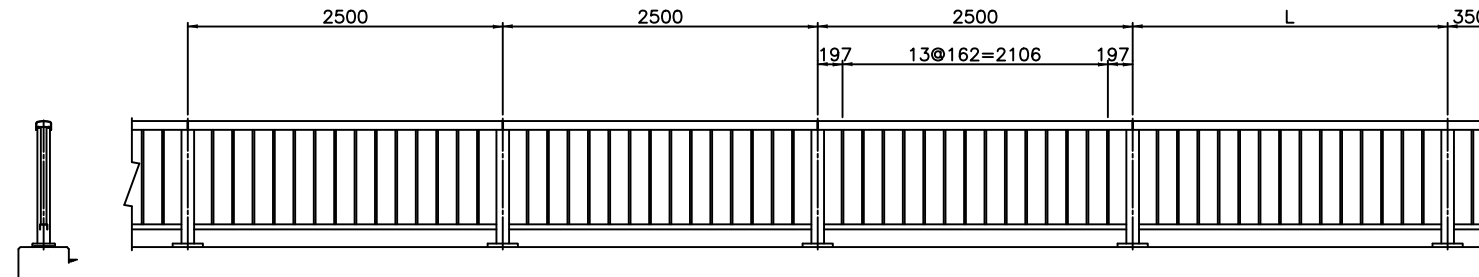
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

日軽エンジニアリング(株)

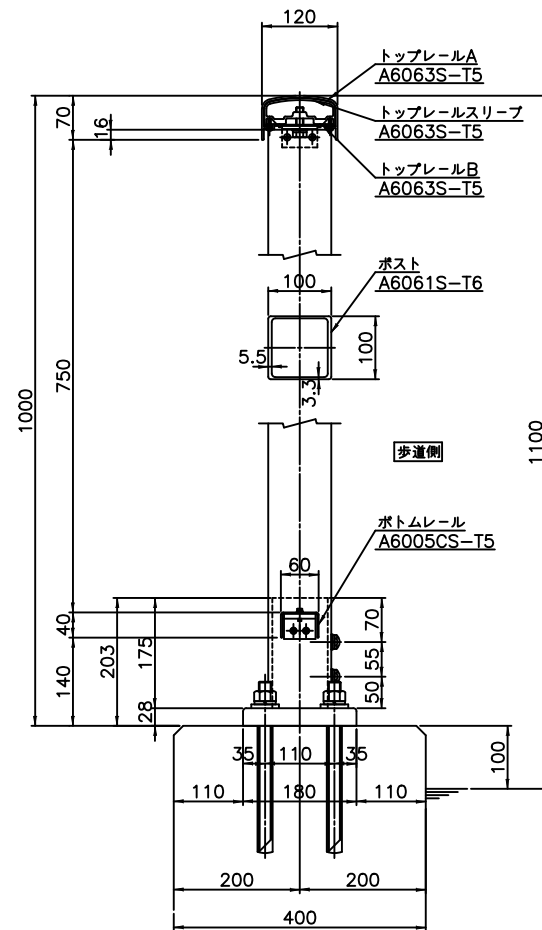
KR-1207-10N

歩行者自転車用柵 SP種
H=1000mm
ナット締め付けアンカー式

姿 図 S=1/30

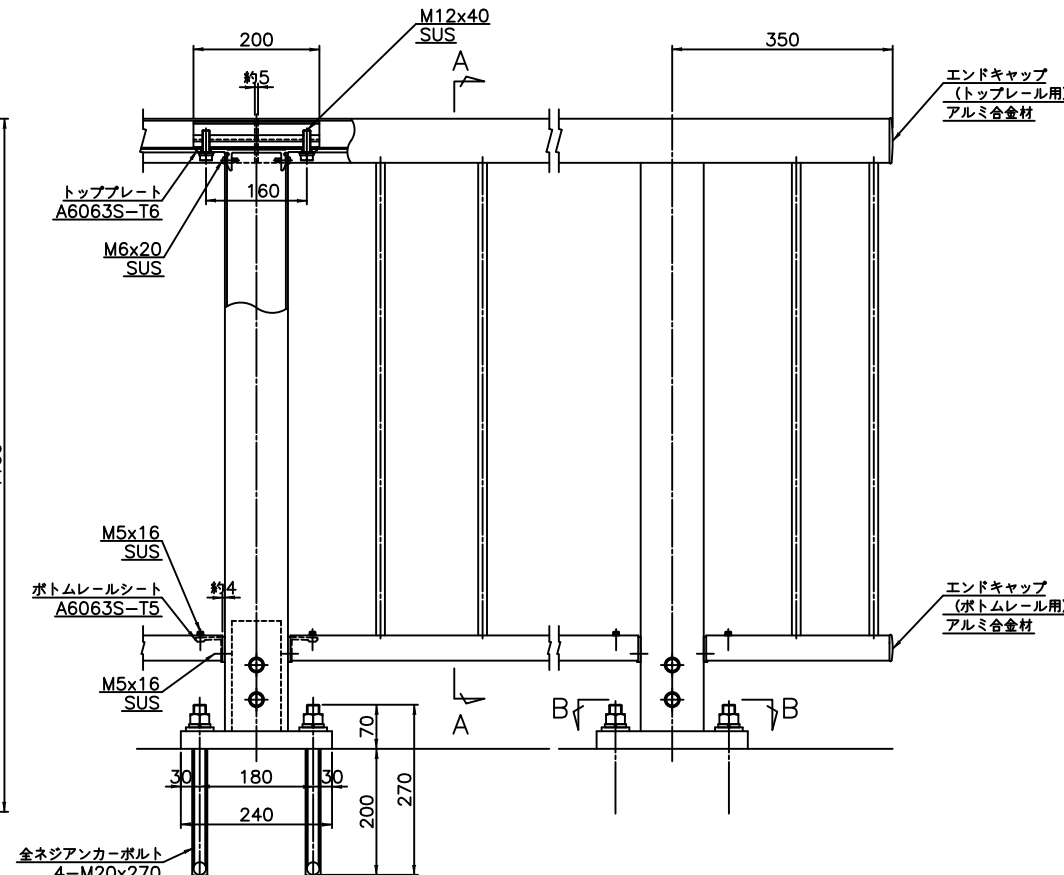


高欄取付詳細図 S=1/6



継手部

端 部

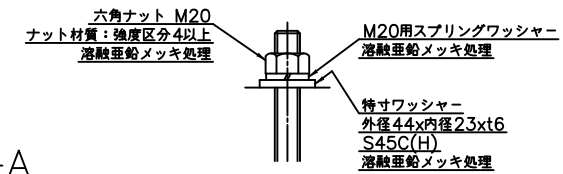


金ネジアンカーボルト
4-M20x270
SS 400
溶融亜鉛メッキ処理
樹脂カプセルアンカー
(AP-20相当品)

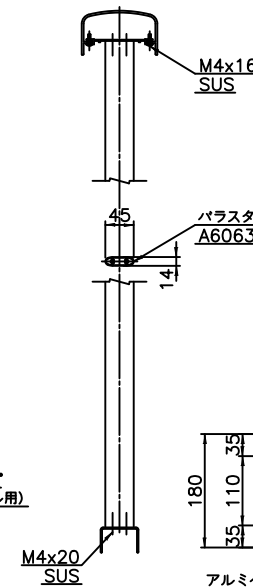
- ※注記
1. 本高欄の設計・製作仕様は(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」(平成30年6月)による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄製作・施工要領」(平成27年3月)による。
 2. 本高欄の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
アルミベースポストのサヤ管部の表面処理は生地とする。
 3. 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

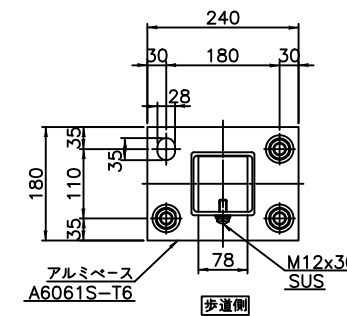
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面A-A



断面B-B



日軽エンジニアリング(株)

KR-1207-10CH

歩行者自転車用柵 SP種

H=1000mm

樹脂カプセルアンカー式